

# 口腔乾燥症などの口腔疾患の画像診断



顎顔面病態診断治療学講座 歯科放射線学

泉 雅浩

IZUMI, Masahiro 准教授 博士 (歯学)

唾液腺の画像分析や口腔乾燥症などの口腔疾患に関する診断と治療を中心に研究しています。口腔乾燥症（ドライマウス）は、唾液腺からの唾液の分泌量が減少することが主な原因と考えられ、国内の患者数は数百万人と推定されていますが、ごく一部の疾患を除き、まだ治療法は確立されていません。

## 研究の内容・特徴・独創性

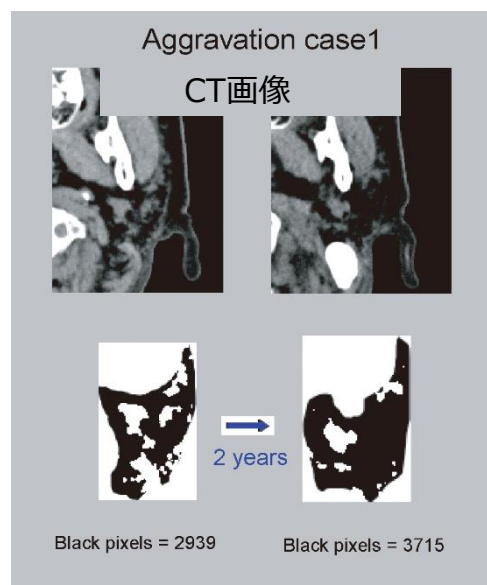
唾液には抗菌作用があり、口の中の雑菌の繁殖を防いでいます。そのため、唾液の分泌量の低下や口呼吸などによって口の中が乾くと、う蝕にかかりやすくなり、また口臭の原因にもなります。口腔乾燥症は自己免疫疾患や薬の副作用などで発症するほか、ストレスとの関連性も報告されています。

私たちは、唾液腺の機能に関する数多くの画像データを保有し、それらの画像を用いた診断から治療に関する豊富な経験と実績を有しています。特に口腔乾燥症については、薬剤を用いることのない独自の治療法を開発し、良好な治療成績をあげています。

また、頭頸部血管をはじめとする各種の臓器についてもMRIを用いた独自の特殊な画像技術に基づき映像化し、超音波など他の検査技術と組み合わせた診断や機能の評価を実施し、治療や予防を積極的に進めています。



口腔乾燥症のカテーテル治療



唾液腺組織破壊の映像化と定量分析

## 社会実装の可能性

- ・ 薬剤を使わない口腔内乾燥症の治療
- ・ 唾液腺機能の映像化
- ・ 頭頸部血管の描出
- ・ 脳機能の映像化
- ・ 体内組織・臓器や機能の映像化
- ・ 医歯薬分野の教材画像

## アピールポイント

各種の画像検査機器を利用して、臨床研究の有効性の検証を得意としております。子供や高齢者も対応可能です。私たちが保有している唾液腺や脳血管系などの機能を映像化した数多くのデータは、臨床応用や医療教育の場だけでなく、新薬の開発や健康関連産業などさまざまな分野において活用可能です。

## 本研究に関する知的財産

- 1) 泉 雅浩ほか (2020), 口腔乾燥症, 日本歯科放射線学会編:歯科臨床における画像診断アトラス 第2版, 医歯薬出版(東京), P199.
- 2) Izumi M *et al.* (2015), Secretion of salivary statherin is compromised in uncontrolled diabetic patients, *BBA Clin*, 3:135-140
- 3) Izumi M *et al.* (2013), Multiple calcifications within the parotid gland of patients with Sjogren's syndrome, *Oral Science International*, 10(1):28-32.

## キーワード

唾液 唾液腺 口腔乾燥症 画像診断 MRI CT 超音波 組織・臓器の可視化